

2月23日 マタイによる福音書 15章 21～31節

「立派な信仰」

今日の箇所、異邦人であるカナン人の女性がイエス様から「あなたの信仰は立派だ」と言われています。それは、イエス様の弟子たちと比較して「立派だ」と言われていたのでしょうか。それとも他のカナン人と比べて「あなたは立派だ」と言われていたのでしょうか。

今日の箇所は、直前の箇所に続いて「神様が何を望んでいるか」が中心になっている箇所です。そのことを弟子たちに理解してほしかったからか、それともこの福音書を読む初代の教会の人々に向けられた書き方なのか、イエス様はまずカナン人の女性の申し出を2度断っています。イエス様の「私は、イスラエルの家の失われた羊のところにしか遣わされていない」という言葉は、聞く人にとっては「イエス様は異邦人のために来たわけではない」と受け取られたかもしれません。しかし、大切なのはその最初の言葉ではなく、カナン人の女性が神様のことをしっかりと理解していることを受けて「イエス様が態度を変えた」という部分、この変化こそが重要だったのです。

基本的に、福音書の中でイエス様が態度を変えることはありません。それは、イエスさまが神様の望みを理解して、その望みを実現するために歩み続けた、一貫した生き方を続けた方からです。そう考えれば、今日の箇所でイエス様は自身の考え方を改めたのではなく、態度の変化によって「私がこのように姿勢を変えたのだから、あなたたちも異邦人の信仰に目を向けなさい」と語り掛けているのです。イエス様のように歩むことを求められる私たちの態度もまた、「自分がよければいい」という態度ではなく、「共に生きる全ての人を尊重する」という、神様の愛の実現する姿勢に変わる必要があるのです。

このように、異邦人であるカナン人の女性は、イエスさまから「あなたの信仰は立派だ」と言われました。それは、その土地の別の神々への信仰を持っていた過去から、イエス様の前に出て語った「神様の恵みが、ユダヤ人という限られた範囲にしか届かないわけではない」という信仰の姿勢へと変わっていたからです。

そう考えれば、「信仰の立派さ」というものは、イエス様が態度を変えて示してくれたように、「自分と誰か」を比べることではなく、「昔の自分」と「今の自分」を比べることによって示されることなのです。

かつて、ここにいる私たちには、神様のことを何も知らない時期があったはずですが。生まれた時はもちろんそうですし、教会に足を踏み入れるまでは、誰かから神様のことやイエス様のことを聞くまでは、神様のことも信仰のことも知らなかったはずですが。そう考えれば、私たちは皆、昔の自分と比べるとはるかに知恵と経験にあふれていて、信仰のことを深く知っているはずですが。私たちは、生まれた時よりも、初めて教会に出会った時よりも確実に「立派な信仰」に近づいているのです。昨日を思い返して、今日はもっと信仰深く生きようと、過ぎ去った一年間を振り返って、新しい一年はもっと神様が望む生き方をしようと、そのように神様にまっすぐ向き合って生きることが、私たちができる「立派な信仰」に向けた生き方なのです。

今日より明日が、今年よりも来年がより良くなるという希望に支えられながら、今週一週間の歩みを、これからの歩みをもとに進めていきましょう。

今日の説教箇所：マタイによる福音書 15 章 21～31 節

- 21:イエスはそこをたち、ティルスとシドンの地方に退かれた。すると、この地方に生まれたカナンの女が出て来て、「主よ、ダビデの子よ、私を憐れんでください。娘が悪霊にひどく苦しめられています」と叫んだ。しかし、イエスは何もお答えにならなかった。そこで弟子たちが近寄って来て願った。「この女を追い払ってください。叫びながら付いて来ます。」イエスは、「私は、イスラエルの家の失われた羊のところにしか遣わされていない」とお答えになった。しかし、女は来て、イエスの前にひれ伏し、「主よ、私をお助けください」と言った。イエスが、「子どもたちのパンを取って、小犬たちに投げてやるのはよくない」とお答えになると、女は言った。「主よ、ごもつともです。でも、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただきます。」そこで、イエスはお答えになった。「女よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。」その時、娘の病気は癒やされた。
- 29:イエスはそこを去って、ガリラヤ湖のほとりに行き、それから、山に登って座っておられた。大勢の群衆が、足の不自由な人、目の見えない人、手の不自由な人、口の利けない人、その他多くの病人を連れて来て、イエスの足元に置いたので、イエスはこれらの人々を癒やされた。群衆は、口の利けない人がものを言い、手の不自由な人が治り、足の不自由な人が歩き、目の見えない人が見えるようになったのを見て驚き、イスラエルの神を崇めた。